



Title	ドイツ啓蒙主義研究 第22号 表紙／目次
Author(s)	
Citation	ドイツ啓蒙主義研究. 2025, 22
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/102990
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

ドイツ啓蒙主義研究 22

Forschungen zur deutschen Aufklärung Nr. 22

ドイツ啓蒙主義研究会

2025

ドイツ啓蒙主義研究 22

目 次

文字をめぐる記録の往来	…………… (吉田 耕太郎) …… 1
— アジアのライティングシーンとリーディングシーンのヨーロッパにおける伝播をたどる —	

はじめに

- 1 新プラトン主義とヘルメス主義
- 2 エンブレムとの接合
- 3 初期中国学のなかで
- 4 普遍記号としての漢字
- 5 筆談
- 6 ライティングシーンとその文化的な意味

おわりに

模倣と快い作用をめぐる啓蒙主義詩学の一断面	…………… (福田 覚) …… 23
— 複合的に組み立てられる快について —	

- 1 詩の目的としての情動作用
- 2 ファーベルによる作用——ゴットシェート
- 3 可能世界の想像による作用——スイス派
- 4 多様を統一したものの作用——ズルツァー
- 5 結論に代えて——作用詩学の混交的な編成

ユング＝シュティリングと宗教的寛容	…………… (長谷川 健一) …… 45
— 『テーオバルトあるいは熱狂者たち』(1784/85) における秘密結社モチーフを手がかりに —	

はじめに

- 1 ユングの「熱狂」評価
- 2 フリーメイソンとの対話
- 3 薔薇十字団と「真のヘルメス主義」

おわりに

【研究ノート】

ヘルマン・コーエンにおけるユダヤ教と啓蒙主義	…………… (八木 緑) …… 69
— P・ブーレッツ『20世紀ユダヤ思想家』を手がかりとして —	

はじめに

- 1 ドイツ・ユダヤ哲学における「世界の世俗化」
- 2 コーエンとカント哲学：啓蒙思想と倫理学
- 3 コーエンの「理性の宗教」とメシアニズム

おわりに